

## 充実の2学期

～生徒一人ひとりがそれぞれの場で活躍しています～



校長 小林 正樹

校庭の木々の葉が鮮やかな黄紅色に変わり、いよいよ秋の深まりを感じる季節になりました。地域や保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動推進のために、いつも温かなご支援、ご協力を賜りありがとうございます。

さて、2学期も中盤を迎え、生徒たちは、授業や様々な行事の成果や課題を見つめ、さらに大きな目標に向かって助走の態勢に入り学校生活を送っています。9月の下旬から10月の中旬にかけて、さいたま市新人体育大会が開催されました。どの競技も生徒たちは一生懸命頑張っていました。ひたむきにプレーする生徒たちの姿からは、脈々と受け継がれている大谷口の精神をしっかりと確認することができました。県大会に出場する選手たちには、さいたま市の代表として自分の力を発揮してほしいと期待しています。大会を終え、達成感や充実感、悔しさなど様々な想いがあったでしょう。しかし、「勝って驕らず、負けて腐らず」です。1・2年生には、気持ちを切り替えてこれからも努力を積み重ねてほしいです。

10月24日（火）、晴天の中、さいたま市中学校駅伝大会が荒川総合運動公園で行われました。本校では、夏休みから男女ともに駅伝部として本格的な練習を始め、朝練習や中間テストの時期にも実施した特別練習など、生徒の皆さんは大変だったと思います。当日は学校の代表として誇りをもって、襷をつないでくれました。また、アップする選手へサポートメンバーが声を掛けたり、励ましたりする姿、さらに指導者の先生方の熱い応援などからも意欲にあふれた駅伝部の雰囲気を感じ取ることができました。その結果、参加チーム63校中、男子チームが7位入賞と健闘しました。女子チームは5位入賞し、11月4日（土）に熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で開催される県大会に駒を進めました。男女とも入賞し賞状を手にするのは立派です。すごいぞ、大谷口中学校。県大会では体調を整え、しっかりと準備して自己タイムを更新する走りを期待しています。

話は変わりますが、本校では、毎朝10分間を使って朝読書を実施しています。時間になると学校中が静まり返り、落ち着いた雰囲気の中で読書が始まります。また、10月30日（月）から秋の読書週間が始まりました。この期間では先生方のおすすめの本を紹介する特設コーナーの設置など図書委員会の生徒を中心に啓発活動を活発に行っていきます。今年は新たな取組として、朝読書の時間に前期図書委員による絵本、短編集の読み聞かせを行います。この活動を通して、学校図書館の本の再発見や新しいジャンルへの興味が広がってくれると思います。昨年度の学校図書館の本の貸出総数は、年間4,329冊で、一人当たり6.5冊となっています。今年度は10月末で3,172冊なので、貸出総数は昨年度を超えることが予想されます。落ち着いた環境の中で、読書をすることは集中力や学習能力が上がったり、語彙が増え文章を書く力も豊かになったりと様々な効果が期待できます。学校では引き続き朝読書をはじめ、読書活動の推進に取り組んでまいります。ご家庭でもぜひ本を読むことが自然な家庭環境をつくっていただくよう願っています。例えば親子で同じ本を読んで、一緒に感想を語り合うというのはいかがでしょうか。本は心の栄養です。読書の秋、皆さんも心に残る本との出会いを大いに楽しんでください。

最後になりますが、感染症予防について、ご家庭におかれましても、検温、手洗いの徹底等の取組を引き続き、よろしくお願いいたします。